

やりたい！をカタチにする講座

TAMA PUBLIC

問
い

1

道路や空き地は誰のもの？

まちの使い方をまなぼう

連続 6 回 講座

6/7 sat



9/27 sat

道路や空き地や公園を使えたらあなたは
何をしたい？ 公共空間の使い方について
参加者と共に学び合い、自分の街を使い
こなせるようになろう。住んでいるだけ
では見えない景色が見えてくる！

1 6/7 土 公共ってどこにある？ 市民館 4 階
第 1 会議室
13:30~15:30 身近な公共空間から問いを見つけ、自分事にするきっかけを作る

2 6/28 土 公共空間を使ってみた事例紹介 市民館 4 階
第 1 会議室
13:30~15:30 先進的な取組から実践のイメージを膨らませる

3 7/12 土 特別講座「公共空間を使う」ってなに？ 市民館 4 階
第 6 会議室
13:30~15:30 市の施策を題材に市民と行政の理解を深める guest：元川崎市市民文化局長 中村茂氏

4 8/2 土 公開講座「デューイの教育論と公共空間」 多摩区役所
1 階アトリウム
13:30~16:00 専門家の講演と対話的なトークセッションで社会を捉え直す guest：上智大学総合人間科学部教授 上野正道氏

5 9/6 土 登戸・遊園の公共空間を探してみよう 市民館 4 階
第 1 会議室
16:00~18:00 まちあるきとグループワークを通して、実践企画をイメージする

6 9/27 土 公共空間を使ってみるアイデアを出そう 市民館 4 階
第 6 会議室
13:30~16:30 公共空間を想定して企画づくりを体験

申し込みはコチラ ▼



TAMA PUBLIC

問い 1

あたりまえを問うてみる

まちを自分事に捉え直し、多摩区の公共空間をフィールドにして対話的に学びながら、社会のモノやコトを問うてみよう。

概要

開催日	6/7(土)、6/28(土)、7/12(土)、8/2(土)、9/6(土)、9/27(土) 全 6 回
時間	主に午後 13 時 30 分～15 時 30 分
場所	多摩市民館 会議室ほか
企画運営	トウテミル
申し込み方法	市民館への来館、電話、ファックス、 市民館ホームページ（5月15日(木) 12 時から）
対象	中学生以上の関心のある方
参加費	無料
定員	20 人（先着）※小学生以上のお様の同伴での参加も可能です。

保育

別室で子どもの預かり（事前申込必要・要相談）

保育対象

3 人程度を予定

（概ね 1 歳半～就学前の子ども／月齢について応相談）

保育費用

無料

（ただし安全対策費用として一人 900 円程度自己負担／
全回分金額です／お申込後の返金や分割納入不可）

guest

特別講座「公共空間を使う」ってなに？

市の施策を題材に市民と行政の理解を深める

公開講座「デューイの教育論と公共空間」

専門家の講演と対話的なトークセッションで社会を捉え直す

3 7/12 土

元川崎市市民文化局長
公益財団法人川崎市文化財団理事長

中村茂（なかむらしげる）

川崎生まれの川崎育ち。民間企業から、川崎市役所へ入庁。宮前区役所、総務局、環境局、総合企画局、こども未来局などを経て、市民文化局長を務め、2024 年から現職。自治基本条例、市民活動支援、コミュニティ施策、文化行政、環境まちづくりなど、参加と対話、現場主義を大切にしながら様々な事業に関わる。最近は哲学対話、シェア本棚にはまっていて、幸区の多世代の居場所「メロディーココ」で、対話の場「ことばすけっと」を開催。

4 8/2 土

上智大学総合人間科学部教授
大学院総合人間科学研究科委員長

上野正道（うえのまさみち）

東京大学大学院教育学研究科博士課程修了、博士（教育学）。大東文化大学文学部准教授、教授などを経て現職。主著に、『学校の公共性と民主主義—デューイの美的経験論へ』（東京大学出版会、2010 年）、『民主主義への教育—学びのシニシズムを超えて』（東京大学出版会、2013 年）、『ジョン・デューイ—民主主義と教育の哲学』（岩波書店、2022 年）などがある。

curator

トウテミル

モノやコトを問うてみる場。問いを生み出す工房のような場。生まれた問いから小さなアクションを起こす、きっかけの場。川崎市多摩区で出会った、問いたがりな 5 人による、あたり前をアップデートしていく試みです。



ササキ



カクヤマ



ムラケン



ナガモリ



スミ

申し込み

5月15日(木) 12時から

電話 044-935-3333

FAX 044-935-3398

HP

